

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスみらいのいぶき

公表日 令和8年3月10日

利用児童数 33名

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16					設備基準においては法令で24.7㎡が必要とされており、当事業所では123㎡の広さを確保しております。活発なお子様もいらっしゃいますので、できるだけ不要な物や棚は設置しない方針としております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	3		3	少なくとも大変そうと思う	法令の基準を満たした運営をしておりますが、当事業所でも充足した職員の数に及んではないと考えています。安心して良い支援ができるよう、採用活動を引き続き行ってまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障がい特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16					室内に表示を増やしお子様が次行うことが分かるよう見える化を行っております。またエレベーター、スロープ、トイレに跳ね上げ手すりなどバリアフリー設計がなされております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					室内空間の環境整備を日々心がけ心地よい環境を整えております。ホコリ、室内温度、湿度には細心の注意を払っております。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1				個別支援計画書に基づき、保育士、セラピスト、児童指導員の専門の部分に理解が得られやすいような説明を心掛けてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			2		計画とプログラムのつながりが充分な説明が行き届いてないと私たちも痛感しております。送迎時や連絡帳での記載など、ご理解を得られやすいよう工夫してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	15				1	個別支援計画書を作成するうえで、更に客観的な分析のための「評価」ができるよう「評価制度」を再構築してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					「ご本人支援」の部分は「個別支援計画のためのカンファレンス」に時間をかけて設定しております。しかし、ご家族支援、移行支援についてはご家族様と支援に対する充分な情報収集に至っていないのではないかと考えております。ご負担にならないような方法も含め、検討課題してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					計画に沿った支援をご説明できるように、今後も連絡帳へ写真を添付したり、活動内容を詳しく記載してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1				ホームページにも記載しております通り、4つのテーマ(遊びと言葉、遊びと運動、遊びと造形活動、遊びと音楽)×6プログラム=24プログラムを2週間でサイクルしております。活動の中の動作を繰り返し行うことで、成功体験を増やしお子様に「出来た」という達成感を持って参加が出来る環境を整えております。今後も実施状況は連絡帳にて記載してまいります。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2			12	グループ内の企業主導型保育園児が来て下さるなど、未就学児との接触はございます。地域の他のこどもさんとの交流は検討課題となります。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15			1		ご理解やご納得が得られやすい説明を心掛けてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1				上記同様に、ご理解やご納得が得られやすい説明を心掛けてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	1	5		家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)として、ハンズオフ支援(ご家庭でも取り組んでいただく支援内容、プログラム)を企画しております。パンフレットやチラシなど、ご理解していただけるような仕組みを取り入れて参ります。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16				引き続き、保護者様と事業所側でコミュニケーションを密にとり、支援に生かすことができるよう情報を共有してまいります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	5		1	4月の担当者会議以外で支援計画などに関する面談が行われなかったです。 ご説明が充分に行き届いていないと考えます。面談という手段にとられず、様々な方法でご提案できればと思います	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					保護者様の立場に立った思いや考えができるよう努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		4	2	10		昨年に引き続き、父母の会は設置しておりません。 (※就労されている保護者様も多く、また、児童ご本人の特別支援学校、またごきょうだいの在籍されている学校の「PTA役員」を勤めておられ、ご多忙とお聞きしています。)必要に応じ、設置を検討します。また、ごきょうだい同士の交流を創出するための、機会の設置に関して必要性が高まりましたら検討いたします。(※現在は「習い事」「通学されている学校行事」「ご家族イベント」で多忙な状況であると保護者様よりお聞きしております)
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1			1	重要事項説明書の改定都度、体制と方法「受付～改善策明示」を保護者様へ説明致します。引き続き、担当窓口を「相本」、責任者を「柴田」が務めさせていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15				1	お子様、保護者様に寄り添ったコミュニケーションが取れるよう実行しておりますが、引き続きより良い方法がないか、一緒に考えていければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	2			5	ホームページをリニューアル致しました。まだ、認知度が低い状況ですのでご案内してまいります。自己評価の過去結果分も当サイトにて掲載しております。SNSに関しては今後検討してまいります。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				3	個人情報の取り扱いには細心の注意を払っておりますが、お気づきの点がございましたら、お知らせください。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1			4	説明はしていただきましたが、実際訓練されているかはわかりません。 各種対応マニュアルは策定し、事業所内において各種訓練を実施しておりますが、マニュアルの公表自体までは至っておりません。公表の方法等、検討課題と致します。また、新しい取り組みとして緊急時訓練時には「連絡体制の整備」としてご協力いただける保護者様へ実際にお電話をかけさせていただき、参加していただいております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2			5	年に2回「2階フロア、3階フロア共同」で避難訓練を実施しております。開催予定日にご利用以外のご家庭へも「お知らせ」文書をお入れしておりますが、口頭でもお伝えするように致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1			2	安全計画について、各種訓練の時期に近づく順にご案内しておりました。年間計画など、情報の発信方法について改善して参ります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15				1	万が一お子様がケガをされた場合、初動処置を優先し、その後状況説明を保護者様へ連絡するよう規定しております。また、緊急時対応訓練時には、「保護者様連絡」を実際に組み込んで実施しております。当日中にスタッフを招集し、「事故報告書(経過記録)」「改善報告書」「状況見取り図」をまとめ上げ、速やかに保護者様説明を行うことを基本にしております。ご指摘、ご意見がございましたら教えていただけると助かります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14				2	引き続き、安心感をもって通所して頂ける環境を整えて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14				2	今後も活動プログラム、日々の生活の中で楽しみに通所いただける環境を整えて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1				LINEが使えると写真を添付できるので子供の症状(処置)など伝えやすく、情報共有しやすいです。日頃より丁寧な支援して頂いていますが、外出やイベントなどがあると子供が楽しんでありがたいと思います。 ・LINEの導入を開始致しました。導入までお時間がかかってしまいご迷惑をおかけ致しました。 ・外出につきましては、様々な利用者様が来所されることからリスク面を考慮して行っておりませんが、イベントに関して日々の活動の中に季節感を感じていただける内容を行っております。今後もっと利用者様に楽しんでいただける活動を考案して参ります。